北島町議会だより

2023.12.1 No.35

2～ 8 一般質問（9月議会）
9 常任委員会レポート
10～13 決算審議での注視と評価
14～15 監査委員の役割と業務
16 浄水場の共同化

北島町HP（町議会）の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

どうするAI？時代は待ってくれない。

学校教育と生成AIについて

――文部科学省は7月4日に「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」をまとめた。

7月までに授業で生成AIの使用例はあるか。

また新学期よりガイドラインに基づいた利用を考えているか。

粟田教育委員会事務局長

これまで本町の小中学校の授業で生成AIを使用したことはない。

今後、教育活動のなかで生成AIを利用する際には適切に活用できるよう、学校とも協議しながら対応していく。

アーカイブに残った最初の大災害

関東大震災百年後の防災

――関東大震災から百年が経過した。

各所で当時の記録に基づいた検証が改めて行われている。

災害発生時に特化したネットニュースのリテラシーを高める防災教育はできないか。

再来月実施予定の防災訓練時に関東大震災を取り上げた訓練や展示を行う予定はないか。

大西危機情報管理課長

関東大震災の発生当時も、デマによる痛ましい事件が発生した。現在も類似した事例や、AIの発達により真偽の区別がつきにくい。スマホの普及で情報の拡散力も凄まじい。防災教育面から阻止することも必要であり、県防災人材育成センターなどにも提案していく。

先日、県立防災センターでパネル展示が行われており、その資料などを本町でも入手できないか打診し、11月の町防災訓練で展示啓発を行うことを検討していく。

戸籍の読み仮名登録について

――戸籍法等の改正により、今後戸籍の氏名に読み仮名を登録するようになる。届出がなければ住民基本台帳か旅券の読み仮名を職権により転記することになる。

職権記載はどの程度の割合になるか。

また、一般に認められた読み方の基準は誰の判断になるのか。

藤田住民課長

現状では職権記載の割合を想定することは難しい。

今後、法務省によって示される基準に沿って進めていく。

その他の質問

●戸籍読み仮名登録に伴い想定される問題について

板東（ばんどう） 泰史（やすふみ） 議員

北島町HP（町議会）の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

幅広い防災教育の実施 子どもたちにも判断力を！

本年6月議会の一般質問において町立図書館の空きスペースを活用した自習室の設置を要望した

子どもたちの学習スペースについて

――夏休み限定での図書館自習室の設置について

1）自習室開放期間の利用者数と現場でのトラブルや問題点、アンケート結果を知りたい。

2）受験前やテスト前など使用頻度が高まると予想される時期にも自習室の設置を要望するが見解を聞きたい。

亀井図書館・創世ホール館長

夏季休業中16日間を開放。利用人数は延べ167名（小学生68名、中学生77名、高校生6名、大学・一般が16名）であった。大きなトラブルはなかったが、照明の明るさ・机の広さ等の問題点があった。66％は、おおむね良かった・良かったと回答。今後も開放日を設置できるよう検討していく。

3）中学校の図書室も長期休業の際、自習室として開放できないか。

粟田教育委員会事務局長

学校職員を配置する必要がある。その場合休日出勤となり働き方改革にも関わる。学校長とも問題点を協議し、実現可能か考えていく。

防災教育について

――学校教育の過程で、地元自主防災会等とも連携を図り、PTAや教職員も参加した防災教育の実施を検討してほしい。

大西危機情報管理課長

各学校とも様々な取組が行われており、危機情報管理課や県立防災センターなどから講義を受け知識を積んでいる。関係機関・団体と連携し、防災対応力向上に取組んでいく。

ガバメントクラウドファンディングについて

――本町にもTNR活動（保護猫活動）を行うボランティアがいる。保護活動を行うほとんどが資金不足の問題に直面していることから、ガバメントクラウドファンディングを実施してはどうか。人にも動物にもやさしい町であってほしい。

中西まちみらい課長

財源確保の手段として非常に有効と考える。飼い主のいない猫の不妊手術費等補助金で、現在、総務課とも連携し準備を進めており、順次ほかの動物愛護施策への展開も検討していく。

松田（まつだ） 亮平（りょうへい） 議員

北島町HP（町議会）の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

本町が描く、ゼロカーボンシティのビジョンとは？

本町におけるゼロカーボンシティに向けてのビジョン

――2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、今後30年間のうち、とりわけこの5年、10年間が重要であるとされ、地域脱炭素ロードマップに基づき、脱炭素先行地域づくりや、基盤となる重点対策の全国実施が必要となってくるとある。本町の取組状況と、今後のビジョンを聞きたい。

中西まちみらい課長

国の補助制度を効果的に活用しつつ、住民や企業に向けた補助事業の拡充、公共施設等の再生可能エネルギー導入等に力を入れていく。

価格高騰重点支援地方交付金の使途は？

本町における物価高騰対策について

――令和5年3月に、国から「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が交付された。本町の使い道の内訳と、その理由について、住民の方に分かるよう説明されたい。

中西まちみらい課長

北島町プレミアム付き商品券事業補助金（2，335万円）と北島町物価高騰対策高齢者商品券配布事業補助金（3，410万円）をそれぞれ計上し、学校給食費補助事業として1千万円を計上し、コロナの影響等による調理加工費の増額分により保護者負担が増えないよう補助している。限られた予算の中で効率的に実施できる事業を考え、関係各課で協議し選定した。

えびすや　だいすけ
夷谷　大輔　議員

その他の質問

- 災害時のコンビニとの協定
- 万博に向けての本町の取組
- 熱中症対策
- 本町におけるDXのビジョン

北島町HP（町議会）の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

地域を輝かせるイベントの可能性を最大化

チューリップフェアでの取組について

――町内外から大勢の来場者のある名物イベントだが、来場者への魅力アピールが不足している。特設ブース・出店などを設置してはどうか。また、チューリップ検定を独自に製作し、広報・観光ツールとして活用してはどうか。

中西まちみらい課長

特設ブースや出店の設置も含めた企画が必要である。実施できるよう考えていく。チューリップの特性を生かした検定等の実施についても、コンテンツの一つになり得るため、併せて検討していく。

公共施設運営について

――本町には、創世ホール・テニスコート・中央公園スポーツ広場など貸出可能な公共施設が多く存在するため、施設を効率的に有効利用することが、住民の豊かな生活と本町の財政の健全化につながる。施設の予約状況や説明について見やすいサイトを作成してはどうか。

粟田教育委員会事務局長

施設ごとに予約方法が異なっており、リアルタイムでの予約状況の表示はシステム上難しいが、YGKドームは月単位の予約をホームページ上に公表しており、他の体育施設関係を連携することについて関係部署と協議を行っていく。

梶（かじ） 哲也（てつや） 議員

その他の質問

- 児童館の昼食について
- 庁舎内のトイレについて
- 公式LINEの今後の活用方法について

北島町HP（町議会）の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

こどもまんなか社会の実現に向けて

第二子保育料の負担軽減策について

――本町独自の軽減制度として、18歳未満の児童が3人以上いる世帯において第三子以降にあたる児童は無償としている。該当世帯は、直近で何世帯か。導入財源はいくらか。

朝野子育て支援課長

令和4年度の対象世帯は43世帯で、年間の町単独事業費は約1千万円である。

――第一子の年齢制限の撤廃を先行させてはどうか。これまで第二子が半額であったものが、第一子が小学校に入学した途端、第二子の保育料が全額負担に変わることからの提案である。

朝野子育て支援課長

令和5年9月現在、対象世帯は20世帯、年額約400万円が必要となる見込みであり、来年度に向けて前向きに検討する。

行財政改革推進DXについて

――北島町が目指すDX推進はどのようなコンセプトで進めていくのか。

藤髙総務課長

組織・制度・職員の変革を進め、住民ニーズの変化や将来的な人口減少・労働力不足にも対応すること。そして段階的に質を向上させるため改善を重ねていく。

――自治体DXにおいて懸念される今後の課題は何か。

藤髙総務課長

単なるデジタル化でなく、組織自体の変革であり、十分な人員・予算・権限の配分を考慮し全職員が自分事として考え実行していくことが重要である。

――今後の課題解決も含めて推進協議会を立ち上げてはどうか。

藤髙総務課長

他自治体の事例を参考にしながら更に推進していく。

――住民票や印鑑登録証明書などコンビニ交付発行以外の取得方法を模索する必要があると考えるが、どうか。

藤田住民課長

町民の利便性等の向上を図るために行財政改革推進室等と連携し、オンライン申請を含めた各種証明書発行のあり方を検討していく。

佐々木（ささき） 紀子（のりこ） 議員

その他の質問

- 熱中症対策・クーリングシェルター設置について
- 長期休業期間中における児童館の昼食提供について
- 食育の一環として「給食ナビ」アプリの導入を

北島町HP（町議会）の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

認知症における行政の取組を問う

2年後の2025年には5人に1人が認知症を患うとされている。地域で認知症の方やそのご家族が安心して暮らせるよう本町の取組を聞きたい。

認知症基本法に係る町行政について

――ご家庭で介護をされている方に対し、介護者病時の対応・相談窓口などは、現在どのような支援があるのか。

亀田地域包括支援センター所長

介護認定を受けている方は各事業所のケアマネージャーが、介護認定を受けていない方は地域包括支援センターに連絡をいただき、町内介護施設の認知症地域支援推進員やセンター職員が電話や訪問にて応じている。

また、認知症カフェを毎月開催したり、行方不明時の対応として見守りシール交付事業やGPS機器等導入の費用助成も行っている。

――認知症施策推進計画の策定が努力義務とされているが、策定の予定はあるのか。また、どのように周知していくのか。

亀田地域包括支援センター所長

現段階で認知症施策に特化した計画策定の予定はないが、介護保険事業計画で認知症施策の現状や計画を盛り込んでいる。更なる充実化を図るため、チームオレンジの体制整備を予定し養成講座なども開催していく。

――認知症について全町民が正しい理解を得るためにどのような取組をしていくのか。

亀田地域包括支援センター所長

各地域の通いの場に地域包括支援センターの専門職が出向き、認知症サポーター養成講座や出前講座を実施し正しい理解の普及に努めている。

講演会の開催や各地域への巡回教室、町のイベントの機会などを通し普及啓発活動に取組んでいく。

児童館における長期休み期間のお弁当について

――5年前にはすでに顕在化しており、当時、外部からの弁当配送の取組を始め、保護者の負担が少しでも減るようにパン食の日やインスタントの日、自治体によっては弁当代の100円負担など他自治体の取組事例を議会一般質問で紹介している。

以前から改善を求めている保護者負担軽減についての進捗状況と給食センター稼働も含め今後の対応を聞きたい。

森本社会福祉課長

現在、長期休業中の昼食は、各家庭から弁当の持参をお願いしており、持参が困難な場合は、弁当業者等からの配送受け取りも対応している。再度、配送弁当の受け取りも可能である旨を保護者に十分周知していく。

将来的プランについては教育委員会事務局、給食センターとも情報共有していく。

★再問あり（続きは上記QRコードから）

ヘルプカードと見守りシール

その他の質問

●マイナンバーカードについて

なかの　まゆみ
中野 真由美 議員

北島町HP（町議会）の動画配信にて
一般質問全編の映像がご覧いただけます。

ひょうたん夏まつり 慰霊花火と灯籠流し提案

ひょうたん夏まつり問題について

――今年もひょうたん夏まつりが盛大に開催された。最大のイベントは打ち上げ花火である。予算の関係で打ち上げる数が少なかった。来年は、町内でお亡くなりになった方のご遺族にお願いし、慰霊の花火と灯籠流しを募集してはどうか。

中西まちみらい課長

花火の打ち上げ発数、５００発の花火を打ち上げた。物価高騰により費用としては、前年度から約一割程度増加しており、今回の夏まつりから実施した協賛金の募集や有料サポーター席の設置による収入により、夏まつりに係る経費の一部を補うことができた。

花火の発数を増やしたり、まつりのイベントを充実させるために、今後もさまざまな手法により収入源を確保することが重要になる。今後実行委員会において、ご提案いただいた慰霊花火や灯籠流しについて検討していきたい。

徳島市：提供

ボランティアポイント制度問題について

――北島町も子ども食堂やわっしょい広場など、ボランティア活動が活発になってきている。健康保険課やＮＰＯ法人などで、ポイント制度を検討している。国も介護や福祉で使えるポイント制度を検討している。北島町の現状はどうか。

井住健康保険課長

地域づくりに向けた新たな取組について、ＮＰＯ法人に配置しているコーディネーターと共に検討を進めているところである。

行政・住民・企業などが協働で住民活動やボランティア活動を支えるためのプラットホーム「まちのコラボステーション」の立ち上げが提案され、高齢者や障がい者、子育てといった幅広い支援に向け、持続可能な担い手及び組織づくりに取組んでいきたい。また、ボランティアポイント制度のルール作りについても今後検討していく。

増谷 禎通（ますたに さだゆき） 議員

その他の質問

- 教育問題について
- 生活支援問題について
- 最終処分場廃止について
- 庁舎改築問題について

議会のしくみをご紹介

令和５年第３回定例会常任委員会Report

９月議会では、15件の議案が上程されました。
議案は本会議で採決される前に、分野ごとに３つの委員会に分けられ、所管課等から説明を受けながら、詳しく検討審査します。慎重審議の結果すべての議案を承認いたしました。一部をご紹介します。

産業建設常任委員会

委員長　灰田菊蔵
副委員長　中野真由美
委員　天羽慶喜　夷谷大輔　北島昭文

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用

北島町物価高騰対策高齢者商品券配布事業として、昭和23年４月１日以前に生まれた方を対象に一人当たり11，000円の商品券をお配りするものです。（75歳以上3，028人）

舗装改修工事費の増額補正

町道1063号線外３路線において、昨年度からの繰越工事や、引き続き路線の舗装を行うため、舗装改修工事費を850万円増額。

公共下水道事業　第７処理分区（グリーンタウン地区）整備の状況について（報告）

現在、グリーンタウンへの幹線管渠詳細設計及び地質調査業務を発注し、公共下水道整備に向けて進めています。できるかぎり国庫補助金を活用し、令和６年度より本格的に工事着手していく。

文教厚生常任委員会

委員長　佐々木紀子
副委員長　羽坂登志馬
委員　松田亮平　天羽慶喜　宮本敬行

北島南小学校特別支援教室改修工事費

来年度、特別支援が必要な児童数が増える見込みであり、対応するため、特別支援教室改修工事費451万円計上。

学校給食管理システムコンビニ収納対応業務委託料

来年度より、町税や諸収入の収納方法について、従来の口座振替に加え、コンビニ払いやバーコード決済が可能となるように進めており、学校給食費についても対応するためにシステム改修を行います。

「すみれの花保育園」が病児保育事業（体調不良児対応型）と一時預かり事業（一般型）を開始予定（R5.10月より）

体調不良児対応型は、主に保育中に体調不良となった児童について、保護者が迎えに来るまでの間、保育園の医務室スペースで看護師などが、一時的にお預かりする事業です。

一時預かり事業一般型は、日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより、家庭での保育が困難となった乳幼児を一時的に預かる事業で、実施が４園になります。

・みどり保育園　・すみれキッズ
・認定こども園めばえ　・すみれの花保育園

総務常任委員会

委員長　増谷禎通
副委員長　板東泰史
委員　松田亮平　梶　哲也　武山光憲

特別職である監査委員の報酬及び費用弁償

監査委員の職務内容や職責の重要性を踏まえ、全国の監査委員の報酬額を参考にし、学識経験者を、月額２万8，100円を４万円、議会選出者を、月額１万４，500円を２万円に改正しました。

ヘルメットの着用が努力義務に！（R5.4月より）

本年４月より、すべての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務になりました。ヘルメット着用を促進するため、ヘルメット購入補助金として、購入費の１／２上限３千円を補助します。（対象：交通事故の多発している高齢者と高校生）

地域活性化起業人制度の活用

町の新たなブランディングや町内外に北島町の魅力を発信することでイメージアップを図るため、様々なプランを検討し、取り組んでいます。（エコバッグの制作、グルメガイドブックの制作、水辺交流プラザの有効活用案等など）

シリーズ第２弾

「みなさまに届けたい。」議員13名の思い!!

令和４年度

決算審議での注視と評価

松田（まつだ） 亮平（りょうへい） 議員

● ふるさと納税業務

大きな収入を得られる手段としてふるさと納税は有効であると考える。返礼品を増やすことで地域振興にも役立ち、それに伴う収入増で様々な事業を展開していくことに期待！

天羽（あもう） 慶喜（よしき） 議員

● 北島南幼稚園増築工事事業

当初予算額は２億7,808万500円となっているが、公正な競争入札により、事業費は２億1,872万7,300円となり、結果として5,935万3,200円もの予算額を節減していることから、適正な予算執行が行われているといえる。

夷谷（えびすや） 大輔（だいすけ） 議員

● 地球温暖化防止を図る事業

住宅用太陽光システム等、省エネ住宅、電気自動車等普及促進補助事業に1,647万5,000円執行したが、ゼロカーボンシティ宣言をしている北島町がゼロカーボンに向かうには、今以上に予算をつけて普及していく必要があると考える。

梶（かじ）　哲也（てつや） 議員

● 公式LINEの活用

公式LINEは、住民と直接コミュニケーションをとるための非常に効果的なツールである。瞬時に最新情報や特典、情報を届けることができるため、エンゲージメントを高める上で大変役立つ。また、通知は開封率が高く、よりタイムリーな情報提供や、反応を期待することができる。さらに、住民にとっての価値を常に提供し続けることが重要である。取捨選択をしながら拡充を望む。

佐々木（ささき） 紀子（のりこ） 議員

● 子どもはぐくみ医療助成18歳まで拡充事業
● 北島中学校講堂防音機能復旧工事設計事業

これまで中学3年生までだった医療助成が18歳まで拡充になったことで、安心した子育てが前進。学校生活はもとより災害発生時、指定避難場所に空調設備が整うことで、熱中症対策と避難生活の質の向上に繋がる。

中野（なかの） 真由美（まゆみ） 議員

● 乳幼児の保育・町立保育所の設備の充実
● 学校給食管理システム委託事業

待機児童もいる中で今後、町の入園者に対する調整力が試される。園児数が一番多い町立保育所は老朽化している箇所も多々あり、設備や施設の改修の充実は必須だ。

こどもに現金を持たせるリスクの回避と、教職員の負担軽減にもつながる。保護者がおつりの要らないように用意する手間も省け、一定の成果が見込まれる。現代社会にあった取組の良い例だ。

板東（ばんどう） 泰史（やすふみ） 議員

● 水道事業会計決算書（2）資本的支出

八丁野地区では、共同浄水場の巨大な施設が建設中であることが県道からも目に入る。資本的支出は約9億円に上り、うち9割以上が建設改良費である。そろそろ額が目立ち始めた。

羽坂 登志馬（はざか とし ま） 議員

● 特別地方交付税について

北島町において、特別地方交付税の増額は数年期待できない。どのような事業を行ったのかだけではなく、財政力維持の行政努力も評価すべきであり、そのことに議員がどのような努力、協力ができるのか考え、実行する。

灰田 菊蔵（はいだ きくぞう） 議員

● 滞納状況について

滞納を含めた町税徴収率は99.2%となり、過去５年間で最も高い徴収率となっている。

県内市町村では、平成27年度より、常にトップ３以内を維持しており、令和４年度も町税徴収率はトップグループに入っている。

また、国民健康保険税についても、過去５年間で最も高い94%の徴収率となっており、今後とも税負担の適正、公平性を担保する賦課業務に期待する。

武山 光憲（たけやま みつのり） 議員

●「新たな公共交通システムの構築」の実現を！

高齢者だけでなく、町民が誰でも、「行きたい時に行き、好きな時間に帰る」システム構築を協議していく。

● 持続可能な財政運営、人口維持の面からも、転入者に対する空き家の活用を！

本町は、中四国の自治体の中で、面積が小さい順位で6位。可住地面積（自治体で人が住むことができる面積）の狭さでは全国１位である。令和４年度446件の空き家があるが、この活用を考えていく必要がある。

みや もと　ひろ ゆき
宮本 敬行 議員

● 安心してください。北島町の財政指数

県内第４位の財政力指数、経常一般財源比率、経常収支比率とも概ね良好、安定しています。

● 子育て支援施策を支える伴走型相談支援

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるように、金銭面だけでなく、ソフト面でも支援体制を拡充。

きた じま　あき ふみ
北島 昭文 議員

● 住宅用太陽光発電システム等普及促進補助事業

地球温暖化防止を図るため、住宅用太陽光発電システム設置者及び蓄電システム設置者に対し、太陽光１kwｈ当たり４万円・件数23件、補助金額上限４kwh10万円、蓄電１kwh当たり４万円・件数９件、上限５kwh20万円。

ます たに　さだ ゆき
増谷 禎通 議員

● ふるさと納税589万7千円赤字
● 魅力的な返礼品開発が必要

北島町はふるさと納税が赤字である。北島町の貴重な税源が他の市町村に流れている。民間も交えた商品開発を進めるプロジェクト推進協議会をつくり、魅力的な返礼品開発が必要である。

監査委員の役割と業務とはどのようなものですか？

★監査委員の役割は何ですか。

監査委員は地方自治法の規定により設置される独立機関であり、住民に代わって、地方公共団体の予算の執行、収入、支出、契約、財産管理など財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理運営が適正かつ効率的に行われているかなど、行政運営全般について、監査を行っています。そして監査委員は、議会、町長含む執行機関あるいは外部の圧力等によって何らの干渉を受けることなく、常に法令及び条例等に従い、北島町監査基準を基に自らの判断と責任において、誠実かつ厳正に、業務を遂行しております。

その監査の結果については、北島町のホームページ等で公表しています。

監査結果の報告

★監査委員はどのように選任されるのですか。

監査委員の独立性を強化し、適正な監査を確保する観点から、監査委員の選任については、町長が議会の同意を得て、人格が高潔で、町の財務管理、事業の経営管理に関し優れた識見を有する者（代表監査委員）及び議員のうちから選任することとされています。

★現在の監査委員は誰ですか。

●識見を有する監査委員

柴山 慶三（平成28年4月1日就任）非常勤

●議会選出の監査委員

北島 昭文（令和5年5月9日就任）非常勤

任期については、代表監査委員は4年、議選監査委員は議員の任期によります。

★監査委員はどのような業務をしていますか。

●定期監査（監査結果を北島町のホームページに掲載）

町の財務に関する事務の執行、経営に係る事業の管理に関し、適正かつ効率的に行われているか定期的に監査するものです。

●例月出納検査

毎月例日を定めて、一般会計、特別会計及び地方公営企業会計の現金出納について、会計管理者や公営企業管理者に対し検査をしています。

決算審査

●決算審査、基金運用状況の審査（意見書を図書館・創世ホールに設置）

決算、その他関係諸表等に基づいて計数を確認するとともに、予算執行や会計処理が適正に行われているかを審査します。町長は決算及び関係書類を監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会の認定を付するものです。

●財政援助団体等の監査（監査結果を北島町のホームページに掲載）

町が補助金、交付金等の財政援助を与えている団体で、北島町社会福祉協議会に監査を実施しています。

●健全化判断比率等の審査

健全化判断比率及び資金不足比率並びにその査定の基礎となる書類等が適正であるか審査するものです。

●その他の業務　工事監査、住民監査請求による監査、北島町労働者福祉協会の監査など。

★最後に、監査委員として北島町の行政運営について、感じることは何ですか。

北島町の優位性を自己判定してみると、税の高徴収率、自主財源比率の高さ、人口微増傾向の維持、企業誘致の進展（町税の増額）、介護認定率の低さなど、多々見受けられ、財政的には他の類似団体と財政健全化法に基づく指標で比較しても、安定的に行政運営ができているものと感じております。

県内初の取組！鳴門市と北島町の浄水場共同化。

共同浄水場になるとどう変わるの？

鳴門市・北島町共同浄水場整備事業

社会を支える重要なインフラの一つに水道があります。水は、皆さんが生活をしていくうえで欠かすことのできない大切な資源です。浄水場は、24時間365日休むことなく稼働し、皆さんのところへ水道水を送り届けています。

本町と鳴門市では、双方どちらの浄水場も主要な施設は建設してから40年近くが経過しており、老朽化が進み、耐震性能にも課題があることなどから、浄水場の更新時期を迎えていました。こうしたなか、旧吉野川をはさんだ対岸に位置し、水源も同じくする鳴門市と水道事業の広域化について検討・協議を重ね、共同で浄水場を整備することに双方が合意したことから、平成29年５月に、浄水場共同化に関する覚書の調印式が行われました。

本事業は、両市町の共同浄水場を整備し、本町並びに鳴門市民へ将来にわたり良質で安全・安心な水道水を安定してお届けすることを最大の目的とし、令和３年３月には、特定建設工事共同企業体と請負契約を締結し、現在も整備を進めているところです。

現在の浄水場

共同浄水場整備事業 Q＆A

Q 共同浄水場はどこに作られているの？
A 既存の鳴門市浄水場内において共同浄水場を整備しています。

Q 北島町へはどんなふうに水が送られてくるの？
A 旧吉野川の地下深くに埋設される送水管により河川を横断して本町へ送水します。

Q 共同浄水場は、いつオープンするの？
A 令和８年４月１日より共同浄水場から皆さんに水道水をお届けできるよう整備を進めています。

Q 共同整備を行うことのメリットはあるの？
A 市町が個別に単独整備をした場合より、ともに工事費を大きく削減できました。
また、国庫補助金の交付対象にもなり、貴重な財源を確保できました。

Q 工事はどこまで進んでいるの？
A 現在は、基礎工事を終え、浄水処理棟、管理棟などの各施設の建設に本格的に着手しています。今後は、鳴門市から本町に向けた河川横断送水管の推進工事の準備にも順次、取り掛かる予定です。

議会広報編集特別委員会では、**読者の方からのご意見・ご感想を募集**しております。
下記の募集要項により手紙、FAX、意見箱（北島町役場３階・議会事務局前）へお寄せください。

募集要項
・氏 名　・住 所　・連絡先
・本文400字以内

北島町お問合せフォーム
https://www.town.kitajima.lg.jp/inquiry/

編集後記

新たに刷新した議会だより。今号においても掲載内容やレイアウトについて何度も検討を重ね作成いたしました。町民の皆さまに議会活動をより分かりやすくお伝えしたい。そして手に取って読んでいただきたい。そんな思いの詰まった議会だよりを細部に渡るまで目を通していただけることを願い、今後も広報委員会として精進を重ねて参ります。

広報編集委員　松田　亮平

議会だより
北島町議会　2023.12.1　No.35
板野郡北島町中村字上地23番地1　TEL 088-698-9811　FAX 088-698-2176　https://www.town.kitajima.lg.jp/gikai/
編集・発行／北島町議会　議会広報編集特別委員会　総合アドバイザー　田辺清逸・川邊めぐみ　印刷／グランド印刷㈱